

静養館だより

発行・編集

社会福祉法人 鎌倉静養館

〒248-0014

鎌倉市由比ガ浜4-4-30

TEL 0467-22-8021

FAX 0467-22-8053

— 苦難が忍耐を生み、忍耐が品格を、品格が希望を生むことを —

《心を高くあげよう》—2024年度に向かって—

理事長 西崎猛之

鎌倉静養館は、設立の経営理念キリスト教精神に基づいて経営しています。発祥の施設、軽費老人ホーム（稲村ガ崎）においては、毎年、新年の始まりに、心身ともに装いを新たにして、神と共に、新しい年を歩もうと、入居者全員（クリスチャンは数名ですが）の参加をお願いし、静養館の皆様と共に元旦礼拝を行います。その後特製のおせち料理で新年をお祝いしています。元旦礼拝では、理事長が礼拝司式を執り行い、新年の挨拶（メッセージ）をします。讃美歌は、讃美歌第二編第1番「こころを高くあげよう」を歌います。讃美歌第二編全259曲の最初の讃美歌です。

今年は、「2020年春から始まった新型コロナウイルス感染拡大が続き、行動が制約されてきましたが、昨年5月より第5類となりました。新しい年になると、感染がなくなるというわけではありませんが、新しい年、2024年を迎えます。鎌倉静養館（老人ホーム）にお暮らしするようになったといっても、何も望みがなくなった、何もできなくなったではありません。新年を迎えて、わくわくする、自分がしたいことを、なりたい自分を、叶えていく、2024年にしていただきたい。どんな時にも人生に意味があります。若者の明日ではなくても、昨日の今日ではなく、《希望》に向かっての《今日》として生きていただきたい」と、新年の挨拶をしました。

2024年4月から改めて2024年度、新しい年度になります。新年メッセージように法人の新年度に向かって、わくわくする2024年度として経営していきたいと考えます。

長いコロナ禍によって、社会の暮らしが変容しています。そして一層の少子高齢化、人口の減少という2040年問題を迎え、働き手が足りなくなる社会になるといわれています。長い老後を一人で過ごす方々が増え、医療介護がどのように支えていくかが問われています。私も鎌倉静養館も社会福祉法人として、この現実に向かっていますが、2024年度の事業運営方針は、老人福祉法の施設と住まいを兼ね備えた、お一人暮らしの高齢者のセーフティーネットの軽費老人ホーム、介護保険法にもとづく、介護を要する方々の特別養護老人ホーム、短期入居介護、訪問介護、居宅支援センター、地域包括支援センター、通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、そして児童福祉法による認可保育園と事業展開が広がっています。それぞれの事業が自立して運営をするも、相互の関係性を一層はかり、法人のガバナンスのもとに事業の生産性を上げ、持続する力を確保していきたいと思います。鎌倉静養館の情報を職員とともに共有し、発信を豊かにしていきたいと思います。そして、ボランティアの方々と協働し、一歩先の福祉の領域を広げていきたいと思います。

讃美歌第二編1番《こころを高くあげよう》の2節の歌詞は・霧のようなうれいも/やみのような恐れも/みなうしろに投げすて/こころを高くあげよう・・・です。

2024年度に向かって、—こころを高くあげて—福祉の領域を広げ、わくわくと進みたいと思います。おめでとうと祝福され、ありがたいという感謝の人生を地域の中で支えていきます。

包括からとどけ「春の力」

高齢者をはじめ、地域の皆さんが「住んで良かった鎌倉！」を目指す地域のよろず相談所。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員・介護支援専門員・地域連携担当の5人体制グレンジャー。「連携」「繋がり」「協調」の気持ちを込めて満開の桜の下で手を重ね、この（春）思い（チカラ）地域へとどけ！！民生委員と地域の見守り活動について包括職員と情報交換。我ら包括グレンジャーは、地域や家、施設だけでなく海にも参上「ビーチクリーン」。令和6年5月にもビーチクリーン開催！！

**地域包括
支援センター**
(由比ガ浜)



**おなり
保育園**

新入園・進級を迎えた園児たちにとって新しい季節は最初に訪れる試練の時でもあります。初めて親もとを離れ泣き声を上げずにはいられない0歳児。年長児となったことへの自覚に溢れるお兄さんお姉さんをはじめ、進級児たちも馴染んだ環境から飛び出して少し緊張気味。吹き荒ぶ春の風の中たくましく伸び育つ花のように、笑顔が花開くその時を一刻も早く迎えるべく、子どもたちの心身に寄り添い、たくさんの感情を共有していけたらと思います。

春のチカラ

～生命の芽吹きき～

やまざくらでは送迎車の中から外を見て季節の移り変わりを感じることも多いです。特に春の桜は咲く前から皆さんの楽しみのひとつでもあり、満開の頃にお花見に行くことが出来ました。お花見をしながら食べたおやつは最高でした！

さらに熱帯魚のグッピーとテトラが仲間入りです！（男性ご利用者と一緒にコーナンまで買いに行きました♪）

**通所介護
やまざくら**
(福祉センター内)

特養鎌倉静養館における『春』は裏庭にある河津桜です。毎年3月に満開になり、入居者が窓から桜を見ながら「もう春ね」と季節を味わう風景が毎年恒例です。

天気が良く暖かい日は外に出て散歩やお茶をすることもあります。

そして今年はコロナ禍になり中止となっていた花見散策（ドライブ）に行くことが出来ました。タイミングも合い、満開の桜を見ながら、「来て良かった、見れて良かった」との言葉と笑顔で入居者からチカラをもらいました。

**特別養護
老人ホーム**
(由比ガ浜)



軽費老人ホームの春と言えば、今までは、「桜（お花見）」でした。今年は、もうひとつ新たに「イースターエッグ」作りが加わりました。卵にきれいな花柄のフィルムをつけて、お湯にくぐらすと、できあがり。思い思いの色で、イラストやメッセージを書きました。イースターは復活祭。コロナ禍で行うことができなかった行事も少しずつ再開しました。ドライブをして逗子の喫茶店に出かけるなど、これからも秘密の企画が盛りだくさん。復活です。

*イースターはイエス様十字架にかけられたのち3日目に復活されたことを祝うキリスト教の復活祭のことです。



**軽費
老人ホーム**
(稲村ガ崎)



**材木座
あじさいの家**
(小規模多機能型居宅介護)



春本番、自慢の日本庭園が新緑となり、赤や黄色の様々な花が、たくさん咲いています。毎日、野鳥の声を聴きながらのコーヒータイム。近くの神社へ桜を観に出かけたり、庭の散歩、畑の水やりや芝生に椅子を並べ青空の下で外気浴。穏やかでゆったりとした春の時間を過ごして頂いています。「旬の筍や蓬で何を作ろうか、そのためには元気でいましょう」と、ご利用者同士で話されていました。やはり『春のチカラ』は凄いです。



2023年度 ボランティアの皆様へ感謝

コロナ禍にあって、感染防止のためボランティアの受け入れを自粛してまいりましたが、次の方々には継続してお願いいたしました。感謝いたします。

- ・ **特養鎌倉静養館** 入居者洗濯ものたたみ（地階洗濯室）の皆様 月～金 当番表に従って
鎌倉婦人子供会館、鎌倉市社会福祉協議会ニーズ対応チーム、鎌倉大船教会、鎌倉恩寵教会、
鎌倉教会、鎌倉泉水教会、鎌倉雪ノ下教会、カトリック由比ガ浜教会 の皆様
- ・ **軽費老人ホーム鎌倉静養館** 入居者フレイル予防のため
しなやか体操（フレイル予防体操） 毎週金曜日午前中1時間 指導 齊藤たえ子様
太極拳 月2回月曜日午前中1時間 指導 伊能千次様
- ・ **材木座あじさいの家**（小規模多機能型居宅介護事業所） 庭木の手入れ
遊木苑・ご近所の方々 随時 4名の皆様

卒園児の記念植樹 鎌倉おなり保育園

3月13日（水）10時30より、材木座あじさいの家の庭に鎌倉おなり保育園の3月末で卒園する9名の園児により、卒園記念植樹（花桃の木）が行われました。

今までは、特養鎌倉静養館の中庭で行ってきましたが、海岸よりで、生育が悪いので、今までの卒園記念樹（花桃の木）をすべて材木座あじさいの家の庭に移植しました。

今年は、6本目です。理事長と小見山浩美理事、あじさいの家の利用者様多数が見守り、3人ずつ、苗木に土を盛りました。9名の卒園児は、4月から小学校に入学、新しい出発の門出です。



法人理事会が開催されました

- ・ 2024年2月1日（木）2023年度第5回ZOOMによるオンライン会議
議決事項 1. 理事長の職務執行状況（2023年度第3四半期）の件 可決
2. 2024年度社会福祉法人鎌倉静養館事業経営方針の件 可決
3. 生活相談員手当新設の件 可決
- ・ 2024年3月27日（木）2023年度第6回ZOOMによるオンライン会議
議決事項 1. 2024年度各施設事業所の事業計画案の件 可決
2. 2024年度収支予算案の件 可決
3. 2023年度軽費老人ホーム収支予算第2次補正予算案の件 可決

—編集後記— まだまだコロナ禍ですが、施設事業所の保育・介護現場にある通信員によって「春のチカラ」を特集しました。いのちの息吹、新たなる出発。法人も2024年度が4月から出発です。鎌倉静養館のホームページも新しくなりました。是非ご一見をお願いいたします。